

何府縣部郡區市何町村番地

身分職業

抗告申立人

何

某

明治年月日何控訴院(裁判所)カ言渡シタル上告棄却ノ決定ニ對シ抗告致候事實左ニ

何控訴院(裁判所)本年刑事第何部第何號何某ニ對スル何被告事件ニ付全控訴院(裁判所)カ明治年月日ヲ以テ言渡シタル控訴ノ判決ニ對シ明治年月日即チ判決ノ送達二日後ニ於テ上告申立書及ヒ趣意書ヲ全控訴院裁判所ニ差出シタルニ何控訴院裁判所ハ此申立ニ對シ期間經過ノ理由ヲ以テ上告申立棄却ノ決定ヲナシタルハ不當ナリ右ノ事實ハ執達吏何某ノ送達シタル裁判送達狀(別紙第何號)依テ明了ナリ

圖チ該送達狀ニ何月何日何時受取云々トアリ又々何控訴院(裁判所)カ言渡シタル何上告申立棄却ノ決定書(別紙第何々)ニ依テ之レカ証明スルヲ得ヘシ即チ該決定書日付ハ明治年何月何日トアリテ上告期間内ナルヲ明確ナリトス以上ノ如キ通法ノ期間内ニ於テ上告申立ヲナシタルモ何控訴院(裁判所)カ期間經過ノ理由ヲ以テ該申立ヲ棄却シタルハ不當ニ付原決定ヲ取消シ更ニ正當ノ判定有之度別紙書類相添ヒ刑事訴訟法第何條ニ依リ此段及抗告候也

年月日

右

何

某印

大審院(何控訴院長判事何某殿

第七十三號

控訴取下屆

何府縣何郡區市何町村何番地
身分職業

控訴人 何 某

御應本年刑事第何號即于拙者何被告事件ニ付明治何年何月何日付テ以テ明治何年何月何日何裁判所ノ下サレタル判決ニ對シ控訴(上告抗告)仕置候處右控訴上告抗告是迄取下候間此段及御届候也

年月日

右
被告人 何 某印

何裁判所

判事 何 某 殿

第七十四號

再審趣意書 (第三百一條以下)

何府縣何郡區市町村番地

身分職業

已決囚 何 某

拙者殺人被告事件ニ付キ明治何年何月何日何裁判所ニ於テ終身懲役ヲ宣告セラレ(別紙言渡書寫ノ通り)今日マテ服役罷在候然ルニ拙者ノ爲メニ殺害セラレタリトノ住處身分職業何某ハ現在當監獄ニ服役中ニテ即チ今ノ住處身分職業何某ト申スハ何某ノ偽名ニシテ全ク拙者ノ爲メニ殺害セラレタリトノ住所身分職業何某相違無之右ニ付キ刑事訴訟法第三百一條ニ依リ事實御再審ノ上正當ナル御判決被成下度別紙原判決謄本及何書類相添此段以趣意書申立候也

年月日

右

何控訴院(大審院)長

判事 何 某 殿

第七十五號

刑ノ執行ニ付キ異議申立書

何府縣何郡區市町村番地

身分職業

何 某

私義明治何年何月何日御廳ニ於テ重禁錮一ヶ月罰金五圓ノ旨渡テ受ケ既ニ重禁錮一ヶ月ハ服役シ終リ且附加ノ罰金モ已ニ完納シタルモノニシテ今日放還ノ期日ニ際シ更ニ五日ノ禁錮ニ換刑ストノ御命令ハ其當ヲ得サルモノト

(親族ヨリ申立ルトキハ其續柄ヲ記スヘシ)

信認仕候ニ付右換刑處分ニ對シ異議ヲ申立候條相當ノ御裁判相成度別紙判決ノ謄本及ヒ附加ノ罰金受領証相添此段奉願候也

年月日

右

何 某 印

何區裁判所(地方裁判所)長

判事 何 某 殿

第七十六號

復權願 (第三百二十四條以下參照)

何府縣何郡區市町村番地

身分職業

何 某

一私義明治何年何月何日何裁判所ニ於テ何々ノ科ニ依リ何刑ニ處セラレタル處明治何年何月何日主刑滿期相成去

ル何月何日マヲ滿五ヶ年經過候間事情御取調ノ上復權ノ御裁可ヲ被仰渡度別紙書類(判決正本外四返)相添此段奉願上候也

年月日

右

何 某印

司法大臣 爵 何 某殿

第七十七號

豫審終結言渡書

何府縣何市町村何番地

身分職業

何 某

年 齡

右ニ對スル私書偽造行使被告事件送豫審處

被告何某カ所持スル債權証即チ借主何某ヨリ被告何某ニ

宛タル明治何年何月何日ノ成立ニ係ル金何圓ノ借用証書ハ明治何年何月何日即チ債權証書成日ノ即時ニ於テ借用主何某カ被告何某宅ニ於テ委意ニ被告ニ交附シタル者ナル事ハ証人何某何某參考借用人何某ノ筆跡ニ據リ明確ナリト思料ス
因テ本件ハ刑事訴訟法第百六十五條第二ノ理由ニ基キ免訴スルモノナリ

但シ被告某ハ拘留ニ係ルヲ以テ放免ス

明治何年何月何日於何裁判所

豫審判事

何 某印

裁判所書記

何 某印

第七十八號

裁判言渡書 (第一審)

何府縣何町村何番地身分職業

何 某

年 齡

右ニ對スル詐僞取財被告事件檢事ノ陳述ヲ聽キ之ヲ審理
シ判決スルノ如左

被告何某ハ詐僞取財ノ罪ヲ犯シタルモノト認メ重禁錮
何年何月ニ處シ罰金何圓ヲ附加シ何月ノ監視ニ付ス

事實及ヒ法律ノ理由

被告某ハ金錢ノ貯ヘ無キニモ係ハラヌ之レヲ所持スル
体ニテ明治何年何月何日何府縣何町何番地旅人宿何某
方ニ投宿シ宿帳ニ住所、々、々、華族醫學士何某(年齢)ト
記載シ以テ旅人宿何某ヲ欺キ金何圓ニ相當スル酒肴并
ニ宿泊料金何圓ヲ騙取シタルモノトス

第七十九號

其證據ハ被告ノ當法廷ニ於ル自白ト証人何某ノ訊問調
書并ニ被害者ノ始末書其ノ他被告原籍調書ニ照シ充分
ナリトス

右所爲ハ刑法第三百九十條第三百九十四條ニ該當スルモ
被告ハ事發覺前ニ官ニ自首シタルヲ以テ全第八十五條ニ
從ヒ本刑ニ一等ヲ減シ處斷スヘキモノトス

明治何年何月何日於何裁判所公廷檢事何某立會
一審ノ判決ヲ言渡スモノナリ

裁判長判事 何 某

陪席判事 何 某

同 何 某

裁判所書記 何 某

裁判言渡書 (第二審)

何府縣何町村何番地身分職業

何 某

年 齡

右何々被告事件ニ對シ明治何年何月何日何裁判所ニ於テ
 被告ノ所爲ハ刑法第何條ニ該當スルモノトシテ重禁錮何
 月罰金何圓ヲ附加シタル裁判ニ服セス相當期間内ニ被告
 ヨリ控訴ニ及ヒタルニ依リ審理ヲ遂ル處
 被告某ハ明治何年何月何日何々、、、、、、、、、、、、
 、、、云ニシタリトノ事實ハ一モ認ムヘキモノナシ
 右ノ理由ニ依リ原裁判ハ其ノ當ヲ得タルニ付刑事訴訟法
 第二百五十一條ニ從ヒ之レヲ取消シ更ニ判決スルヲ左ノ
 如ク

判決

被告某ハ本件犯罪ノ証憑充分ナラサルニ付刑事訴訟法第
 二百廿四條ニ從ヒ無罪

明治何年何月何日何控訴院刑事第何部公廷ニ於テ
 檢事何某立會第二審ノ判決ヲ言渡ス

裁判長判事	何	某
陪席判事	何	某
全	何	某
全	何	某
同	何	某
裁判所書記	何	某

刑事訴訟法實用並ニ書式終

全 明治廿五年八月五日印

刷

全 明治廿六年七月十四日再版發行

版

全 十一月五日印

刷

全 全月十三日訂正三版發行

刷

全 全月十三日訂正三版發行

定價五十錢



版權所有訂正
兼發行者

金刺源次

東京市平民

東京市神田區今川小路
一丁目五番地

印刷者

松本秋齋

東京市本郷區湯島
一丁目十三番地

各府縣大發賣所

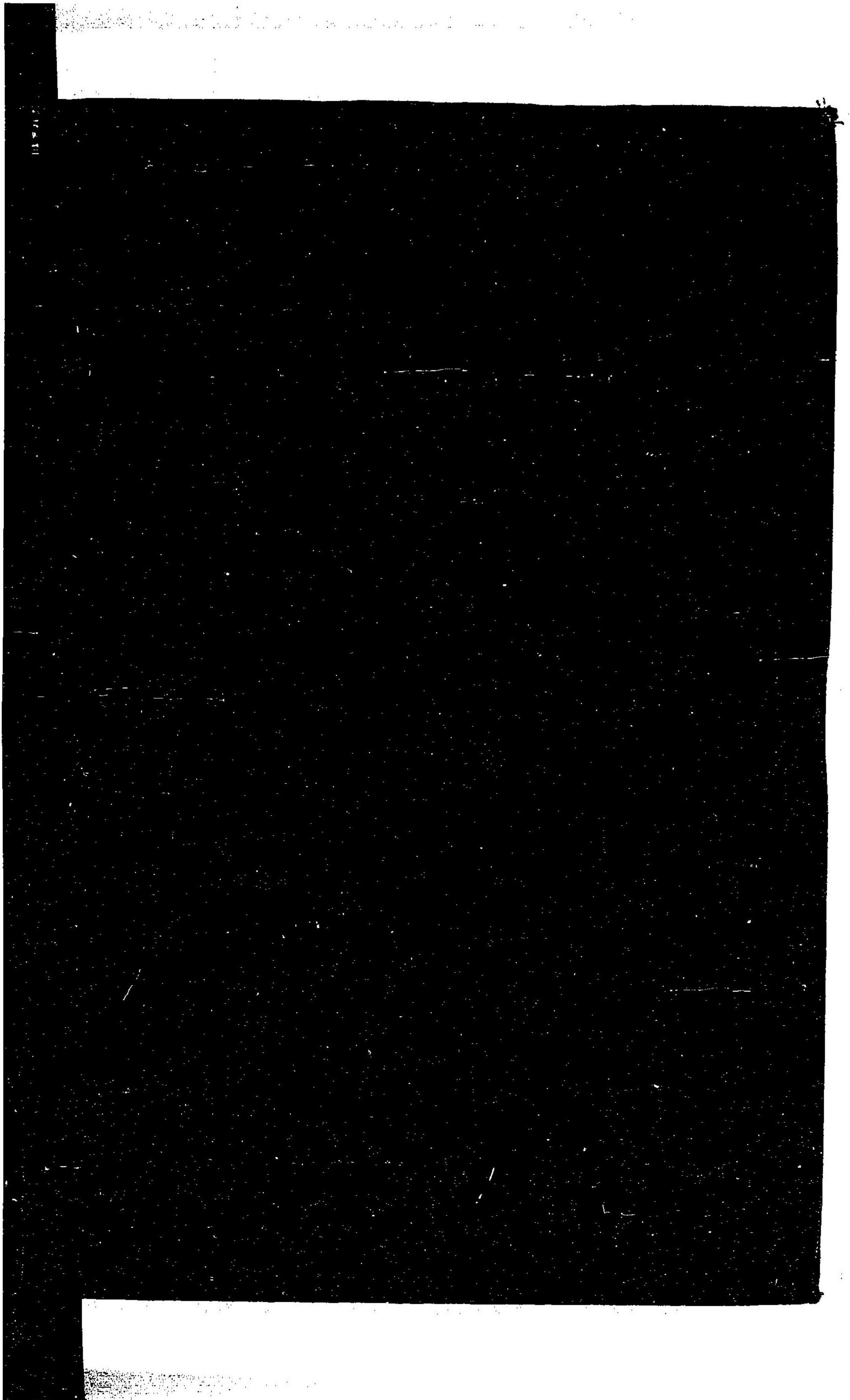
大坂市 全
京都市 全
橫濱市 全
靜岡市 全
名古屋市 全
津市 全
岐阜市 全
京都市 全
大坂市 全

吉岡平助 全
積善館 全
平野廉七 全
柳原喜兵衛 全
梅原支店 全
河合文港堂 全
若林書店 全
藤森書店 全
丸善支店 全
里見書店 全
池谷書店 全
文源堂 全
川瀨代助 全
淺見文昌堂 全
三輪文次郎 全
河島九右衛門 全
三浦源助 全
淺野書店 全
長崎次郎 全
吉岡朝七 全

鹿兒島市 全
高知市 全
博多市 全
長崎市 全
佐賀市 全
仙台市 全
金澤市 全
德島市 全
越後長岡 全
福井市 全
富山市 全
松江市 全
神戸市 全
和歌山市 全
北海道函館 全
全札幌 全

吉田幸兵衛 全
澤本駒吉 全
山中專助 全
山積館支店 全
安中書莊助 全
河內書莊助 全
佐藤養次 全
伊勢安書次 全
高藤書堂 全
雲根書堂 全
坂井萬吉 全
目黒十郎 全
品川為郎 全
中川為郎 全
川岡清助 全
吉岡支店 全
青木支店 全
平井支店 全
尾文支店 全
山口支店 全

70
211



70

211

036696-000-3

70-211

刑事訴訟法実用

南館 文一郎/著

M26

BBS-0120

